

「第7期 福島子ども未来塾 第4回」



【参加者】 小学5年生～中学1年生
【場 所】 国立磐梯青少年交流の家



○事業趣旨

- ・心を開いて、表現をする楽しみを学ぶ
- ・新しいことにチャレンジする喜びを学ぶ
- ・チームで一つのことを成し遂げる喜びを知る。

○参加者内訳

対象	男	女	計
小学5年生	9	21	30
小学6年生	11	16	27
中学1年生	4	0	4
中学2年生	0	0	0
合計	24	37	61

○活動日程

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
11/6 (土)						到着受付	開式	グループの中を知らう	屋食	荷物移動	グループワーク	グループゲーム	Meet&Greet ワークショップ	夕食	振り返り	入浴	移動	就寝準備
11/7 (日)	起床	朝の集い	移動	荷物整理	Meet&Greet ワークショップ		移動	屋食	セッションリハーサル	Show	写真撮影	開式						

○研修トピックス

「グループワークチャレンジ ～わたしたちのチャレンジ～」

表現について、ゲームを通して楽しく学んだ。最初は、恥ずかしさから消極的な姿が見られたが、ゲームを重ねていくうちにどの子ども緊張がほぐれ、楽しく取り組む姿が多く見られた。チームの名前やチームでチャレンジすることなどを話し合い、決定した内容を入れた看板を作成した。時間が少ないなかで協力して取り組む姿が多く見られた。

「Meet & Greet ～HEART GLOBAL に表現の仕方を教わろう～」

「Show」での発表を目指し、表現の仕方を丁寧に教えていただいた。最初は、伝言ゲームなどから始まり、徐々に手拍子の表現、ダンスなどの練習を重ねていった。2日間という短い練習のなか、短時間でマスターしていく姿が素晴らしかった。

「Show ～チームで練習したことを発揮しよう～」

習ったことを組み合わせ、1つの発表作品に仕上げた。保護者の方にも観覧していただいた。チームごとで担当するパート、全員で動きを合わせるパート、前の人の動きに対して、自分も動いていくパートなど、どのパートも練習の成果が現れた素晴らしい発表となった。「Show」を通して、子どもたちの表情、声の大きさ、動きなどどれも始まる前より自信に満ちていた

「私のChallenge 報告&Challenge 宣言 ～今回の経験を生活に生かそう～」

今回のプログラムを通して、「チャレンジできたこと」、「いつもの生活で新たにチャレンジしたいこと」について振り返りを行った。

「チャレンジできたこと」

- ・やったことのないことでもチャレンジすることで、どんどん興味がわいてくる。

「いつもの生活で新たにチャレンジしたいこと」

- ・間違いをこわがらない。 やったことのないこと、できないことでもチャレンジしてみる。
- ・学校生活での発表、吹奏楽部(トランペットなど)自分の夢にむかって今まで以上に頑張りたい。

○成果と課題○

<成果>

- ・振り返りで、一生懸命がんばる人の格好の良さ、練習に取り組むことのすばらしさなどを実感した子が多かった。
- ・今回の体験を通して、自信がつき、学校生活でもチャレンジしていきたいという意欲が高まった。

<課題>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で2泊3日のプログラムを1泊2日に短縮した。子どもたちのがんばりで成果は現れた。例年通り3日に戻し、余裕を持たせながら子どもたち一人一人が成長を実感できるようにしていきたい。